

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社 まるきた	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護事業所たゆたふ
所在地	(〒960 -8003) 福島市森合字屋敷中 15 番地の 8		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

住み慣れた地域で、「認知症になっても」「療養をしながらでも」「最期を家族と迎えることも」職員一丸となって支援しています。
 たゆたふでは最期まで穏やかに過ごされております。
 医療依存度の高い利用者様を自宅で最期まで生活が送れるよう支援しています。
 自宅での生活困難者の受け入れを行っています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 4 月 23 日	従業者等自己評価 実施人数	(20) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 5 月 18 日	出席人数 (合計)	(14) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (3 人) ☐ 市町村職員 (人) ☐ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☐ 地域住民の代表者 (7 人) ☐ 利用者 (1 人) ☐ 利用者の家族 (1 人) ☐ 知見を有する者 (1 人) ☐ その他 (人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		職員一人一人が事業所の理念を理解し、目標に向かって一丸となり、努力していく。 地域とのかかわりを増やしていく。	コロナ禍のため、地域の方々との関わる ことができなかった。	コロナ禍が収束したため、ももりん体操 の場所を提供したり、イベントを開催し て参加してもらうようにしていく。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の 特性・変化に応じた専門的な サービス提供 (評価項目 11 ～27)	利用者様・ご家族様のニーズに柔軟に対 応していくことを継続する。	担当者会議、申し送りやカンファレンス 等でニーズを見つけ、早く柔軟に対応し ている。	ニーズをみつけて、柔軟かつ迅速に対応 できている。 朝・夕の申し送りやカンファレンス等で 話し合い、改善策を周知徹底している。
	2. 多機関・多 職種との連携 (評価項目 28 ～31)	病院、他事業所との連携を継続する。	実態調査、入退院時等に医療機関や他事 業所との連携を図っている。	訪問看護が必要な方には訪問看護指示書 をいただいているため、計画書や報告書 を提出して連携を図っている。
	3. 誰でも安心 して暮らせる まちづくりへ の参画(評価項 目 32～41)	事業所のサービス内容を知ってもらい、 地域で信頼される事業所になるよう発信 していく。	コロナ禍の影響で地域の方々と交流する ことができず、交流や信頼関係を築くこ とまではできていない。	地域へ出向いたり、事業所にきてもらえ るような機会を作っていく。

Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	事業所を知ってもらう機会を作る。 様々なニーズにこたえられるよう、職員のスキルアップができるよう教育していく。	面会時や担当者会議等で、ニーズを見つけたら、迅速に対応している。 月1回のカンファレンスでの研修を実施して、スキルアップできるようにしている。	情報を収集し、柔軟かつ迅速にニーズに対応することができている。 外部研修にも参加できるようにしている。
-------------------------	--	--	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		医療ニーズの高い方や重度の認知症の方等を受け入れしている。 痰の吸引の研修も終了し、吸引もできるようになった。 看取りの希望等の様々なニーズに答えることができた。	痰の吸引の研修と登録行い、ニーズに答えることができるようになったため、実施していく。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	面会時、担当者会議等でコミュニケーションを図り、ニーズを見つけ柔軟かつ迅速に対応している。 カンファレンスや毎日の申し送り等で情報を共有し、ニーズに答えている。	情報共有し、迅速かつ柔軟に対応していく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	協力病院や主治医とは訪問看護の報告や電話連絡等で連携を図ることができる。 医療機関とは地域連携室を通して、入退院時等連携を図ることができる。	各利用者様の主治医や病院、他事業所との連携は継続していく。

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	コロナ禍のため地域の方々との交流はできていない。	地域に当事業所を知っていただき、頼りされる事業所になるよう広報活動を行う。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		多様なニーズに答えることができるよう事業所全体で連携を図り、ニーズに答えていく。	多様なニーズに答えることができるよう職員のスキルアップを図っていく。 開かれた施設を目指していく。 ももりん体操の場所の提供を再開する。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表〔事業所自己評価・運営推進会議における評価〕

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を		15	5		具体策がないため、評価しにくい。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されてい
		【具体的な状況・取組内容】 理念を掲げており、毎週月曜日に唱和している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い ない	全 く でき て い ない		
	含む、独自の理念等を掲げ ている						ない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業 所の理念等について、職員 がその内容を理解し、実践 している		15	5		医療依存度の高い方々を支 え、看取りまで行っているこ がわかり、家族や利用者が安 心して生活できていること がわかった。	✓ 「サービスの特徴および理念等 を踏まえた実践」の充足度を評価 します ✓ 独自の理念等が明確化されてい ない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通 じて、各職員の中長期的な 育成計画などを作成してい る	5	12	3		個人の希望を反映した育成 計画を実施している。	✓ 「育成計画の作成」の状況につい て、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画 などを作成している場合は「よく できている」 ✓ 育成計画などを作成していない 場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機		18	2			✓ 「専門技術の向上のための日常

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で き てい ない	全 く で き てい ない		
	会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している					外部の研修にも参加することができるようになると思います。	業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	15	5			情報共有し、しっかり支援できていると思います。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提		18	2			✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	供等に反映させている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 会議での要望や助言があれば、迅速かつ丁寧な対応を行い、業務内容に反映させている。				引き続き継続してください。	を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	13	5	2		元気に明るく挨拶され、笑顔多くみられて好感が持てます。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 人材不足は若干あるが、職員間で声掛けし協力しながら業務を行っている。 休みの希望通り取れている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		18	2		迅速に情報共有できていると感じます。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 毎日の申し送りや月1回のカンファレンスを行い、利用者の変化に迅速にかつ柔軟に対応している。 改善内容は伝達ノートに記入し、職員全員に周知している。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	18	2			ヒヤリハット・事故・苦情報告で改善方法など明記されているので、改善されていると思います。 コロナもやはり、感染予防は大事だと思います。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」な
		[具体的な状況・取組内容] 様々な委員会を設置している。 リスク委員会はヒヤリハット・事故・苦情を集計し、改善策を話し合い、業務改					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		善に役立てている。 感染防止委員会は、感染予防・対策・勉強会等を行っている。					どが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	17	3			BCPの内容をしっかりと職員間で情報共有していただく い。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 災害と感染のBCPを作成した。今後はその内容に添いながら動くことを職員に情報共有していく。 避難訓練は年2回実施。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	17	3			ご家族様と連携を図ってください。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 有料老人ホームが隣接されているため、常に利用者様の情報把握ができるため、アセスメントができています。 面会時、ご家族様の状況の変化等の確認も行っている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	5	15			介護と看護の意見をまとめて、迅速に情報共有してください。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 毎日の申し送り・毎月のカンファレンス等で意見交換や情報共有を行っている。 訪問看護を利用されている利用者も多いため、医療面のアセスメントも実施し共有している。					